

柏市民活動ニュースレター

2023年3月発行 第28号

雨で延期の“ぽかぽか市”、3月21日に無事開催！

◇ 毎年11月23日の勤労感謝の日に開催される「市民活動フリーマーケット・ぽかぽか市」。昨年は雨天中止となりましたが、3月21日の春分の日、25団体が参加して無事開催されました。
⇒詳細は2~3ページをご覧ください。

◇ これに続いて、5月14日(日)には、市民活動の祭典「柏市民活動フェスタ2023」が開催されます。どうぞお楽しみに！
⇒詳細は8ページをご覧ください。

※ 新型コロナウイルス感染症対策は、令和5年3月13日から「マスク着用は個人の判断が基本」となりましたが、特に人が集まるイベントなどでは引き続き感染対策に十分気を付けましょう！



たまご補助金交付団体が、新たに7団体誕生！

- ◇ 令和5年2月に、設立間もない市民活動団体の活動を支援する「たまご補助金」の審査会が行われ、令和5年度も7団体が本補助金の交付を受けることになりました。⇒詳細は4ページをご覧ください。
- ◇ 次号のニュースレターから、順次、たまご補助金団体の活動状況を紹介いたしますので、ご注目ください。



<目次>

はじめに	・・・1ページ
市民活動フリーマーケット・ぽかぽか市	・・・2~3ページ
令和5年度たまご補助金交付団体が決まりました	・・・4ページ
協働まちづくりサロン「柏の“協働まちづくり”を対話ゲームで考える」	・・・5ページ
市民活動講座「手賀沼エリアのまちづくりを考える」	・・・6ページ
たまご補助金交付団体の活動紹介／柏・愛らぶ基金団体の活動紹介	・・・7ページ
柏市民活動フェスタ2023の開催案内 ほか	・・・8ページ

～市民活動の春まつり～ 市民活動フリーマーケット・ぽかぽか市

3月21日の春分の日、柏駅前通りハウディモールの歩行者天国を会場にして、市民活動フリーマーケット「ぽかぽか市」が開催されました。

- 開催日 令和5年3月21日（火・祝）
- 時間 10時30分～15時
- 会場 柏駅前通りハウディモール



- サブテーマ ～市民活動の春まつり～
- 参加団体 福祉・環境・子どもなど、右表の25団体（うち2団体はパフォーマンスを披露）

当日の天候は晴れ時々薄曇り。暑過ぎず寒過ぎず、屋外イベントには最高の天候でした。会場には多くの市民が訪れ、休日のひと時を楽しんでいました。



《参加団体》

■福祉

- ・NPO 法人あけぼの スペース若柴
- ・リンデン ～千の用途をもつ樹～
- ・認定NPO 法人いもむし
- ・介護・認知症の家族と歩む会
- ・笑顔の会・きらら
- ・柏市ひとり親(母子、父子、寡婦) 福祉会
- ・ナルク東葛北ブロック

■生涯学習

- ・生涯医療ネットワーク

■健康・スポーツ

- ・よさこい柏紅塾
- ・フレイルサポーター・女子力向上委員会

■環境

- ・柏市リサイクルプラザリボン館運営委員会
- ・柏市コミュニティ植物医師の会

■国際

- ・NPO 法人地球市民交流基金アースアン
- ・NPO 法人ネットワークハーモニー

■まちづくり

- ・柏アイデア研究会
- ・幸紡会ラボかしわ特定非営利活動法人
- ・NPO 法人柏おやしダンサーズ
- ・北柏楽しいことやっちゃおうプロジェクト

■子ども

- ・ガールスカウト千葉県第17団
- ・ママコミュ SMILE :)
- ・柏の葉サイエンスエデュケーションラボ
- ・NPO 法人 tette-Tonerico
- ・ママパパ BOUSAI ライフ
- ・バルーン・バルーン
- ・かしわ子育てまちづくりネットワーク・ここっと

※パフォーマンス

- ・よさこい柏紅塾
- ・おやしダンサーズ

《ぽかぽか市 名場面集》



春の陽気に誘われて、多くの市民がご来場！
世界の国からコンニチワ！

「おやしダンサーズ」と「よさこい柏紅
塾」のパフォーマンスで会場は最高潮！

こどものあそびスペースで・・・
ケン・ケン・パ〜&皿まわし



たまご
補助金

令和5年度 柏市民公益活動育成補助金 (たまご補助金) 交付団体が決まりました！

柏市では、設立間もない団体に重点を置き、団体が自主的、自発的に活動を行うための財政的支援制度「柏市民公益活動育成補助金(たまご補助金)」を設置し、交付終了後も活動資金を集め、活動を継続できる団体を育成することを目的とし、毎年、補助金を交付しています。

このたび、令和5年度柏市民公益活動育成補助金(たまご補助金)の交付7団体が決まりました。交付団体は1年間を通じて、市民活動サポートコーナーの伴走支援のもと活動を行っていきます。

皆さん、ぜひご声援&ご注目をお願いします！

令和5年度 たまご補助金 交付団体

団体名	補助事業名	サポートコーナーより
フレイルサポーター フレイル予防広報委員会	ミニフレイルチェック	活動を通じて、日頃のフレイルへの意識・予防の大切さを、高齢者のみならず多世代に広めていってください！
Chloris Music (クロリス・ミュージック)	柏市内の子どもたちにクラシック音楽体験を届ける事業	乳幼児に対する音楽活動は良い取り組みです。子ども達が楽しめるプログラムを考えてクラシック音楽を届けてください！
KASHIWA NOTE	柏の地域でインクルーシブな音楽会	他団体との連携でいろいろな立場の方と一緒に活動する分、リスク管理など十分考慮が必要です。やることを整理した活動を！
糸かけ数楽アート よつ葉	わくわく糸かけ・いきいき糸トレ～みんなの元気のきっかけづくり～	多くの人に活動を広めて糸かけアートの魅力とその効果(自己肯定感の向上など)を発信してください。賛同者も増えてきます。
きれいな地球に住み隊	きれいな地球に住み隊 (まちの美化活動)	仲間・賛同者を募り、活動を広げるための活動を！チラシの配布など、多くの人目に留まるよう周知PRを工夫しましょう。
虹色未来大学	「市民活動のハイブリッド活動推進」と「志縁型コミュニティ活動による健康寿命延伸への貢献」	これから市民活動にICT化は必要になってくると思います。この活動を通じて多くの団体にICTの重要性を伝えてください。
ちゃーりんぐ柏	次世代へ柏の歴史を伝えたい！	今までの経験と新たな方法(PR動画配信)で柏の地域資源を伝えてください。サイクリングツアー等の安全面も十分考慮して。

第4回協働まちづくりサロン（1/18） 柏の“協働まちづくり”を対話ゲームで考える



1月18日（水）に、第4回協働まちづくりサロン「柏の“協働まちづくり”を対話ゲームで考える」を開催しました。

今や市民活動を行うにあたり、避けては通れぬ言葉の一つである「協働」。よく耳にするようになりましたが、いざ実際に行うとなると勘所がイマイチ掴めなかったり、お互いの思いがぶつかり、相手方となかなかうまくいかなかったり…と、敷居が高いようにも捉えられがちです。

そこで、「もう少し親しみやすく協働を体験できないか？」という思いから、合同会社J-doc company 代表社員の影山貴大氏をファシリテーターに、「ローカルダイアログ」という対話カードゲームを使いながら、コミュニケーション・対話から入っていくまちづくりの形を実践してみることを目的としてサロンを実施しました。

講師の影山さんは、対話にローカルダイアログのようなカードゲームを使うメリットについて「カードに問いがあるからこそ、空中戦の会話だとなついつい出てしまう“こうあるべき”という感覚を平和に崩すことができます。また、今まで考えたことのなかった問いも話し合うことができるため、もっと相手の意見を聞いてみたくなる。そんな対話が自然に作れるのがカードゲームの良さです」と説明していました。

対話ワークの時間はたっぷり 2 時間近く行われましたが、どのグループでも話が尽きることなく「柏のまちづくり」について対話することができました。

ワーク終了後は参加者全体で、柏のまちづくりや協働に関する意見交換を行いました。「世代・組織を問わず、メンバーの固定化に悩んでいる」「団体や人を繋いだり、コミュニケーションを取っていける、コーディネーター的な人材が柏の地域のあちこちで必要なのではないか」といった、「人」に関する内容が多く上がりました。

また、「人材と活動のマッチングの仕組みも必要なのではないか」「一定のモデルがあり、それが柏の各地で横展開されるとよいのではないか」という声も同時にあり、人材の育成とその先の展開方法も併せて考えていくことの重要性が示唆されました。



今回は各活動分野に焦点をあてたものではなく、市全体の“協働のまちづくり”を考える機会となりましたが、カードゲームの効果も十分に発揮され、話題が散らばることなく対話を行うことができました。

今後も各分野ごとのサロンはもちろんのこと、どの分野の活動者も集まって、柏について包括的に考えたり、交流できる機会を作っていきたいと思います。

ローカルダイアログとは？

自治体の住民参加型ワークショップでも使われている、カードを使って対話しながらまちづくり戦略を作っていくツールです。

「行政との共創のしやすさ」「地域とのつながりやすさ」「地域資源の豊かさ」など、5種類のカードに書かれた問いに対する答えを対話しながら決めていくことで、最終的にグループでの回答がグラフになってデータ化されます。

第5回市民活動講座（2/25） 手賀沼エリアのまちづくりを考える

2021年12月、道の駅しょうなんの新設棟「てんと」がオープンし、手賀沼エリアのまちづくりは新しいステージを迎えたと言えます。

第5回講座では、これを機に、市民の力を活かした「手賀沼エリアの魅力を高めるまちづくり」について考えるために、参加された市民・市民団体の皆さんで意見交換を行いました。

本講座には、高校生からシニア層まで幅広い世代の方19人が参加し、ご自身の活動の報告やまちづくりの提案を行っていただきました。



- テーマ 『手賀沼エリアのまちづくりを考える』
- 日 時 2023年2月25日(土)14時～16時
- 場 所 パレット柏
- 講 師 手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会
鈴木亮平さん・星野奈月さん

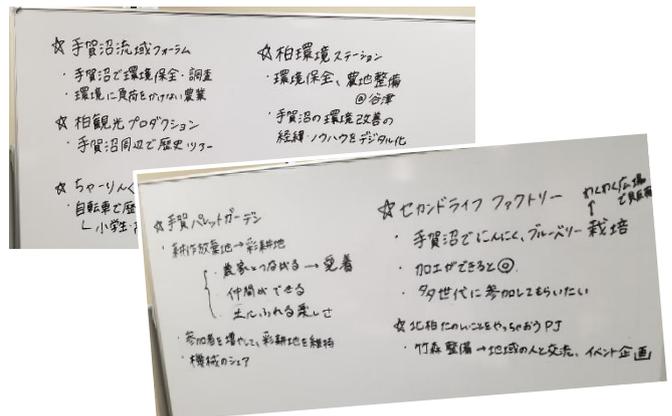
■ 内 容

＜1＞ 話題提供

これまでの手賀沼のまちづくりと現在の取組み
～協議会設立の経緯から「手賀沼まちづくりセンター」構想へ～

＜2＞ ワークショップ

参加者の活動発表とアイデア出し
～手賀沼エリアの魅力を高めるアイデアを考える～



＜まちづくりのアイデア＞

- ① 台船を使った企画、船上ライブ、カフェ、映像制作、空撮まぜて
- ② 名所・旧跡を巡るフォトラリー
- ③ 色々な団体と地元のつながりの仕掛けづくり
- ④ 駐車場増やす・釣り大会・ドローン実証実験フィールド・サイクリングロード沿いに小規模カフェ
- ⑤ 「小拠点」の分散整備、周回乗物の利便性、上水道延長、公衆トイレ整備
- ⑥ ゆるく繋がって情報を共有できる何か
- ⑦ 手賀沼周辺の清掃ボランティア
- ⑧ 食文化など横繋がりが沢山あると良い
- ⑨ 休耕田に関わる情報（場所等）を共有できれば良い

＜道の駅活用のアイデア＞

- ① お買い物、交流の場、イベント会場など
- ② 交通結節機能
- ③ イベント広場を併設（特にファミリー層対象）
- ④ 手賀沼“観光”の拠点、情報の拠点
- ⑤ 学習プログラムのようなもの
- ⑥ オープンにいろんな人が使えるように
- ⑦ 野外ステージの設置
- ⑧ 手賀沼を見ながら勉強できる施設

たまご 補助金

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）交付団体の 活動紹介（ママパパBOUSAI ライフ）

令和4年度には、7つの市民公益活動団体が柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を活用して活動をしてきました。ニュースレターでは、その活動状況を順次レポートしてきましたが、今回の「ママパパBOUSAI ライフ」さんが最終回になります。

令和5年度も、新しいたまご補助金団体の活動状況をレポートしますので、お楽しみに！

■団体名：ママパパBOUSAI ライフ
(Instagram : @mama.papa_bousai_life)

■団体紹介

子育て世代の日常生活にチョコッと防災をコンセプトに、災害から「命を守る・つなぐ」ための知識・備え・行動を考える柏市民公益活動団体です。

団体HP



「皆さんと同じ(当事者)目線で、ママ・パパが気になる防災の知識を伝えていくことを大事にしている団体です」という言葉が印象的でした。たまご補助金を活用して、今後は「防災カード」と「BOUSAI ノート」の2つを発行するそう。「ぜひ、お手に取って頂き、防災について家族で考えるきっかけにしてほしいと思います」とのことです！

■活動訪問記-1/29 (土) 開催「アルミブランケットをデコろう！」(はくはくフォーラム)

当日は12名の親子が参加し、ご家庭ごとにシールやペンでアルミブランケットを楽しく飾り付けていました。冒頭ではアルミブランケットの選び方や利点(せめて500円以上のものを買うと避難生活時に音のストレスが減り、防寒・遮熱性も向上する)を参加者に紹介。



柏 愛らぶ 基金

柏・愛らぶ基金団体の活動紹介

柏市民公益活動促進基金(柏・愛らぶ基金)は、市民の皆様からの寄付金を活用して市民公益活動を支援する制度であり、現在、保健福祉や環境など様々な分野で活動している29団体が基金団体として登録しています。ニュースレターでは、順次 愛らぶ基金団体を紹介しますので、皆様のご支援をよろしくお願い致します。



(基金の詳細)

NPO 法人ホスピスケアを広める会

千葉県東葛地域に患者本位・患者中心の医療が実現することを望み、医療従事者と一般の市民が協力して、啓発活動および在宅支援を行い、地域でホスピスケア・緩和ケアの医療が拡大することに寄与することを目的として活動しています(1998年設立)。基金は東葛地域で最後まで暮らせるための患者・家族の支援事業(在宅サポート支援、公開講演会の開催、アロマトリートメント活動、かたりあいの場の提供等)に活用しています。



(団体の詳細)

(特) NPO こどもすぱーす柏

「子どもの権利条約」の精神に基づき、子どもがひとりの人間として尊重される社会を目指し、自主的、文化的、創造的な体験活動を行い、子どもの豊かな成長に寄与することを目的として活動しています(2003年設立)。鑑賞会やキャンプ、おはなし会などの開催のほか、ニュースレターを発行することで多くの人へ活動内容を発信し、子ども子育て支援に関する情報を提供中です。基金はおやこ舞台鑑賞会や子育て講演会の開催に活用しています。



(団体の詳細)

柏市民活動フェスタ 2023 の開催案内

- ◇ 市民活動の祭典「柏市民活動フェスタ 2023」は、例年通り5月の第2日曜日の14日に、77の市民公益活動団体が参加して、柏駅周辺の4つの会場とオンラインで開催されます。

皆さま、ご家族やお友達を誘って、お出かけください！

- 日時 2023年5月14日(日)
10時～16時(屋外会場) 9時30分～17時30分(パレット柏)
- 会場 柏駅東口ダブルデッキ、ファミリーかしわ前広場、
柏駅前通りハウディモール歩行者天国、パレット柏
オンライン配信(YouTube)



まち match づくりステーションのご利用案内

- パレット柏の「まち match づくりステーション」は、柏市内で活動する市民活動団体の活動紹介や団体同士の交流・連携などに利用するスペースです。
- ご利用を希望される方は、パレット柏の総合受付までお申込みください。☎04-7157-0280

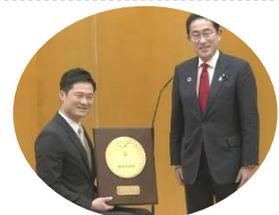


編集後記

本号を編集している最中に嬉しいニュースが飛び込んできました。柏市出身の車いすテニスプレイヤー国枝慎吾さん(今年1月に現役引退)に国民栄誉賞が授与されました。おめでとうございます。

新年度を迎え、国枝慎吾さんのパワーをもらって、柏が一層元気になる、そして市民活動も一層盛り上がることを期待します。

(編集：及川愛二)



3月17日、岸田総理大臣から国枝慎吾さんに国民栄誉賞を授与